

(一) 二十一四 第一 (日曜金)

十タ  
九  
日刊  
**支那  
支那  
支那  
支那  
支那  
支那  
支那  
支那  
支那  
支那**

昭島縣石城郡平町糸屋町十四  
福島縣安行人間田弘政  
印 刷 所 横濱發石城郡平町糸屋町十四  
印 刷 所 加納沿坂所  
福島縣石城郡平町糸屋町十五  
發 行 所 管城時報社  
一部金貯錢一ヶ月迄始給付  
廣告料一行十四字諸金五十錢  
▲日刊（日曜、祭日）休刊

其銀行の急務なるを呼ばれてゐ  
が、縣道以外の道路に對し現  
在の町勢にては町貿易局、ても財  
源上それを許さざる事情あれ

こんな酒が良いか  
平税務署で選定法を作り

た互に慾憇して入選を期すべ  
きである。

石城地方炭礦労働者中にはアル  
コレ中毒に陥るゝもの有る  
▲色澤の良いものは淡い青  
帶びて程良。谷言を  
此は配布する

舞子を呼んでゐる、蓋し舞子の美景に倣つてつけたに過ぎない模倣的な名稱と見る外はあるまい、新舞子——仁井田浦が

# 止の爭議團

湯本町入山炭礦の争議は、百年前から見事に敗北した。然し理論闘争から見て無意義な敗北ではない。日本坑夫組合として常磐地方各支部將來を慮る時、入山支部だけを犠牲にする事は止むを得ない。そして解散の切口として、争議の原因は、ある色の褪せた赤い旗だけが散に打ち毀され軒頭に掲げられ、以來、同町裏町の本部には居残る團員もなく屋内の戸障子は散

名残りを止めてゐるのみ、其後の組合本部には寄りつゝ勞動者もなく、争議團は殆んど全滅の有様であつたが、去月十三日以來さしもの猛威を揮ふた三日以來の争議團が、現在の慘敗狀で演説會を開く方針である。勿來町では近來著しき就學兒

態のまゝ手を引くか否かは坑夫組合將來に大なる影響があるのである。事として之の成行きを注目されてゐたが、善後策について十八日午後六時、なる日本坑夫童の増加を見てゐるので遂に現在校舎にては狹隘を感じ教授上の不便甚だしき爲め校舎増築の決議をなし三棟を増築許可申請中であるが其内二百坪一棟の建築に就ては此程指令に接したの

組合常磐地方聯合會事務所に執で舊校舍北に隣接せる敷地に建  
行委員會を開き協議の結果入山設すべく十五日から基礎工事に  
礎の爭議は十九日正午を以て慘着手したが工費は一万五千圓内  
敗のまゝ打切る事とし十九日午外である。

上入山争議團解散式を行ひ、今  
日までの経過を記した惨敗の宣  
言書を發表した。  
争議解散に際して加藤  
最近平町を中心として自動車營  
業者の増加せる事は實に目ざま  
交通事故頻發財源に困まる平町

處で「新舞子」の名稱が人口に  
膾炙されて、今となはその名  
稱を呼んでゐる。蓋し舞子の  
美景に倣つてつけたに過ぎな  
い模倣的な名稱と見る外はあ  
るまい。新舞子—仁井田浦が  
或る人に言はしむれば、決し  
て舞子に遜色あるでなく、風  
光明媚なること、風致の雄雅  
かへつて新舞子の方が優れた  
るものであると激賞してゐる  
成程、他の模倣や優れた價值  
を放棄して「新舞子」にてな名  
稱を有難ながらて戴く必要は  
ない譯だ。まア皆さんどうた  
考へで、何とか良い名稱を  
た考へ下さい。—新舞子の  
地勢は四倉駅から半里南方の  
白砂青松・夏井川の下流—草  
野から二十町赤沼海岸の一帯  
を含む處で自然の美がいかに  
も流露されて國立公園などの  
鳴専くな處です。

磬城高女

(第五信) 關西旅行團 東本願寺に參拜しました、平和の使である鳩が太い圓柱の間を縫つて飛び交はして居ます、神前にひざまづいた時、そぞろに懷古の情にうたれました、護王神社に立ちよつて古の宮城、御所に參りました。黄色のタンボ、が一面に咲いてゐて目にしめる程でした、エメラルドグリーンにそめられた木蔭を通り電車に乗りました、八瀬よりケーブルカーにのり、たそろしい程傾斜した山を氣持よくのぼりました、頂上から見下した景色はまるで霧のゆをのぞいてゐる様だからすかにうすれてゐる琵琶湖の水色の空と合する彼方も夢より淡く幻の様、竹生島もそんでもました、御山よりな

もとく紫式部の清楚な、そして怜俐な面さしがこの石山寺のある一角に存在してゐるのではないかどうがはれました。石山寺見學も終つて又汽船にのりました、水はあくまでも美しく濃き青色の所々に高くもり上つて白く光る小波の様子も可愛らしいものでした、一二群めしかたまりが天をつく様に勢よくのびて川風かすかにゆれてゐるのも一しは風情がありました、いまや沒せんとする夕陽がらんらんご燃えぐるひながら西山に次第に姿をかくして行く頃大津につきました。地上も湖上もたそがれの薄明の中に沈んでゐました、夕日に輝いた湖面を蒸汽船が二ツ三ツ小さな黒煙をはいて通つてゐましたそれがれのたゞやう水色の空に、桃色の月がかすむ様に笑つてのぞいてゐるのも随分優美でした。三井寺にたまゝりして旅館についたのでした。

三時半頃眼がさめた時はまだ雨が降つてゐましたが、五時半頃誰れかゞ「雨が止んだ」と叫んだので、私達は思はず喜びの聲を上げました、雨戸を開けると朝の光がバツと部屋にさしこんで来て皆んなの顔は喜びの色に満ちてゐました八時頃霧降の瀧を見るために板穴川の上流に向ひました、途中の景色も綺麗でした、やがて目的地につき大岩に腰かけてあたりを眺めました、

東京株式清算取引高低表

第三學年

高女修學旅行記

九

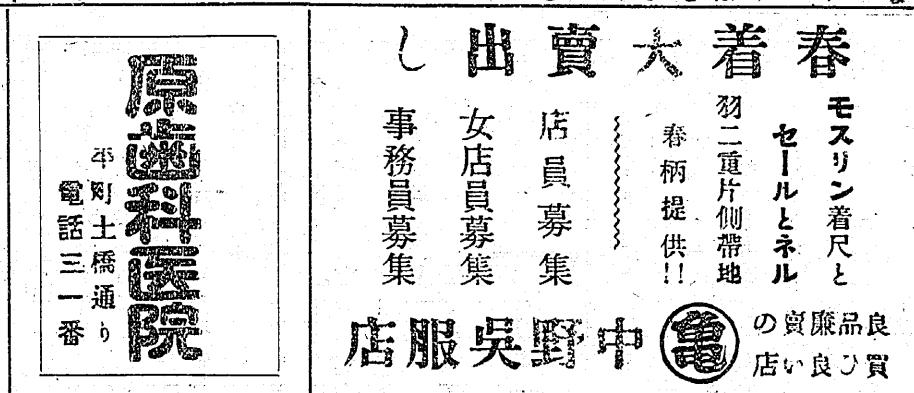
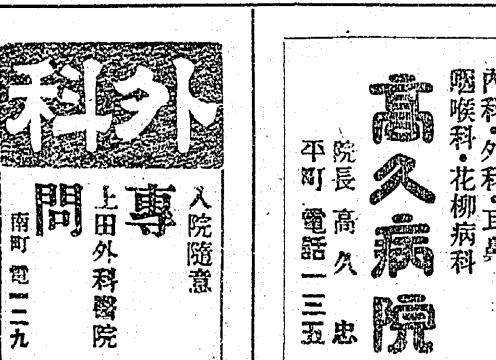
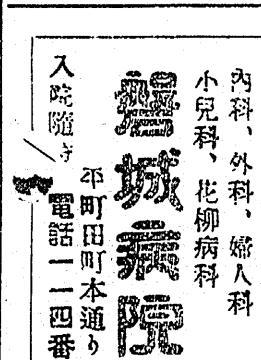
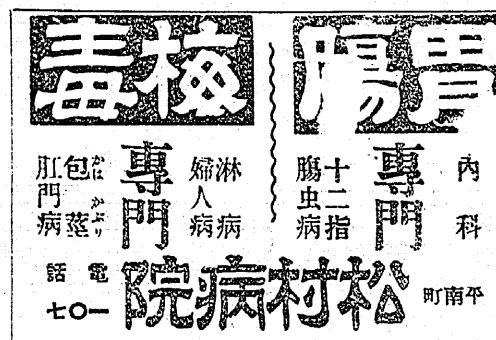
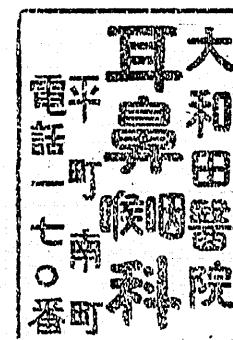
東京商品取引  
（五月十九日前場）

▲暫らく經つたら、最近來任した橋矢田部長、山田氏に向ひ用が濟んだら歸り給へ……。確か爭議團員に差入れにて來たものと考へたらしい。

宮あたりから少し雨が降りましたが、そのうち晴れてしましました。行く時に引かへ歸りは汽車が混んで困りました。郡山で乗りかへ汽車はずんずん走つて故郷へ近づき私達はもう家についた様な氣持でした。黄昏はだんぐるとたして真赤な夕日は西山にとかくれて空は薄墨色に暮れて行く頃なつかしい私達のふるさとに着きました。驛夫の聲、ブランケットホーム、すべてがなつかしく私達の胸によみがへつて喜び思ひよどります。

大きな岩の間を美しい水が流れてゐて涼しく思はれました暫らくして歸途につきすぐ日光停車場に向ひ、着いたのは十時頃でしや、た土産を買つたりしてゐるうちに時間がせまり汽車に乘りました、宇都

宮あたりから少し雨が降りましたが、そのうち晴れてしまふ。行く時に引かへ歸りました。は汽車が混んで困りました。郡山で乗りかへ汽車はすんずん走つて故郷へ近づき私達はもう家についた様な氣持でした。黄昏はだんぐとれしませ眞赤な夕日は西山にとかくされて空は薄墨色に暮れて行く頃なつかしい私達のふるさとに着きました。驛夫の聲、ズラットホーム、すべてがなつかしく私達の胸によみがへつて嬉しく思ひました。



印 刷 物 の 御 用 は …… 加 納 活 版 所

平 町 二 丁 目 ( 電 1103 )

な か や 洋 服 店

價

◎簡易の会社  
成業と堅實の返り守着  
一毛字と其業

婦人洋傘 小供麥帽

麦一文字帽と  
ワインシャツ

タシマ 摘取々種  
イサ下覽御非是

店品洋ヤルツ

【番十四百話電】目丁四平

御座敷 横十  
武者人形 八  
久月特製品ノヨクテ安イ  
平町三丁目  
金太郎玩具店